

C+podコミュニティ・デザインプロジェクト

～糸島の小学生と九大生のコラボによるラッピングC+podのお披露目会を実施します～

移動サービス等を通じて未来へ繋がるまちづくり(=よかまち)を目指す『よかまちみらいプロジェクト』。その取組みとして、C+podコミュニティ・プロジェクトを実施しました。この度は、プロジェクトにより作成したラッピングC+podのお披露目会を行います。

■ お披露目会について

日時	2022年5月23日(月) 13時30分～14時30分(受付開始 13時15分～)
会場	スカラエスパシオ(住所:福岡市中央区渡辺通4-8-28 F.TビルB2F) ◆お問い合わせ先:092-737-2339(株式会社SEEDホールディングス 担当:水本)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・取組みの主旨説明 ・ご挨拶およびラッピング車両(4台)のお披露目 (ネットトヨタ福岡株式会社 代表取締役社長 金野 誠) ・デザインコンセプトの説明(九州大学大学院 芸術工学研究院 池田 美奈子 准教授) ・質疑応答 ・フォトセッション

■ C+podコミュニティ・デザインプロジェクトの概要

C+podはトヨタ自動車が発売した超小型電気自動車です。2人乗りで、最高速度は時速60キロ、航続距離が150 kmという、今までの自動車の価値観を覆すエコでのんびりとした移動を楽しむ未来志向のモビリティです。現在、糸島半島に5台のC+podがシェアリングカーとして設置されていて、運転免許があれば誰でも利用できるようになっています。糸島半島の豊かな自然をゆっくり楽しむもよし、ちょっとそこまでの買い物を楽しむもよし、みんなでシェアするクルマの未来のカタチを一足先に実感できます。

「C+pod コミュニティ・デザインプロジェクト」は、糸島市の協力を得て、2200人の子どもたちに糸島をテーマに、海の生き物や花、景色、未来の乗り物などの絵を描いてもらいました。その絵をもとに九州大学でデザインを学ぶ学生たちがデザインしてC+podをラッピングしました。未来をつくる子どもたちと大学生がコラボして描き出した糸島の未来のストーリーを乗せた車が、走り出します。

自分で描いた絵を見つけた子どもたちの得意げな顔、ご家族やお友だちの嬉しそうな笑顔が思い浮かびませんか。「C+pod コミュニティ・デザインプロジェクト」は、地域に親しまれるコミュニティーのクルマ、未来のマイクロモビリティのカタチのデザイン提案です。

企画 | 福岡トヨタ自動車株式会社、ネットトヨタ福岡株式会社、株式会社SEEDホールディングス

協力 | 糸島市、九州大学

絵画 | 一貴山小学校、福吉小学校、波多江小学校、可也小学校、南風小学校、怡土小学校、前原南小学校、前原小学校、東風小学校、引津小学校、桜野小学校、姫島小学校、雷山小学校、長糸小学校、加布里小学校、深江小学校

デザイン | 木森理梨香、栗田大夢、中澤勇介、山領早穂(九州大学芸術工学部)

北島壮智、竹中ゆき奈(九州大学大学院統合新領域学府)、星野純平(九州大学大学院芸術工学部)

デザインディレクション | 池田美奈子、工藤真生(九州大学大学院芸術工学研究院)

ラッピング制作 | トヨタ自動車株式会社